

2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



2021年11月8日

上場会社名 ソフトマックス株式会社

上場取引所 東

コード番号 3671

URL http://www.s-max.co.jp

代表者(役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 野村 俊郎

問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理本部担当(氏名) 濱平 耕一

(TEL) (099)226-1222

四半期報告書提出予定日 2021年11月8日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の業績(2021年1月1日~2021年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	3,007	10.4	335	77.4	362	64.3	239	59.5
2020年12月期第3四半期	2,725	△4.7	189	△28.3	220	△21.4	150	△13.6
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年12月期第3四半期	40.15		-					
2020年12月期第3四半期	25.19		-					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	5,239	2,437	46.5
2020年12月期	5,689	2,259	39.7

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 2,437百万円 2020年12月期 2,259百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	-	0.00	-	12.00	12.00
2021年12月期	-	0.00	-	-	-
2021年12月期(予想)	-	-	-	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	11.9	472	5.9	510	4.4	337	0.7	56.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	5,968,300株	2020年12月期	5,959,500株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	357株	2020年12月期	357株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	5,963,881株	2020年12月期3Q	5,959,207株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等に関する説明、その他特記事項)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、実際の業績等は、様々な要因により、大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の4ページに記載した「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発令により社会経済活動が制限される等、厳しい状況で推移し、先行きは依然として不透明な状況となっています。

当社が事業展開している医療業界においては、継続して新型コロナウイルス感染症が直接的な影響を及ぼし、当感染症患者の受け入れ如何を問わず、医療機関では感染防止策等が医療従事者を始めとした医療資源に大きな負荷がかかっています。そのような環境で、今年9月に発足したデジタル庁では、準公共分野のデジタル化として、国、自治体、医療機関等に分散して蓄積されている個人の健康・医療・介護に関するデータの活用を可能とする環境構築の推進が施策として示されています。また、今年10月からのマイナンバーカード等によるオンライン資格確認の本格開始、2023年1月からは電子処方箋の運用開始が予定され、医療分野のDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進は継続しています。電子カルテシステム等のソリューションやクラウド技術、AI、データ利活用などのテクノロジーは、社会的課題である少子高齢化や社会保障費の増加、医療サービスの地域格差等の解決において一層重要性が高まっております。

このような状況の下、当社では、Web型電子カルテシステム「PlusUsカルテ」を中心として、電子カルテシステムの導入ニーズの高い中小規模病院への拡販、複数の医療機関を広域に展開する医療法人へのプライベートクラウド（※1）型システムの導入、既存顧客のリプレイス需要と新規顧客のパブリッククラウド（※2）需要の取り込み に注力するとともに、大手ベンダー等との協業による受注案件やオンライン資格確認等の医療DX関連のシステムの導入を進めてまいりました。また、開発・技術部門では、顧客のニーズに沿ったシステム機能の充実と信頼性の向上という方針を基に、システムの機能強化、バージョンアップを継続するとともに、AIを活用した音声認識機能を始めとした新たなテクノロジーの研究、顧客医療機関に対するサポート体制の強化、顧客満足度の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は3,007,971千円（前年同四半期比10.4%増）に伸びました。また、利益ベースでは、売上高増加に加え、仕入価格の低減等により売上高材料費率が抑えられた結果、売上総利益率が前年同四半期に比べ3.7ポイント増加し、営業利益335,520千円（前年同四半期比77.4%増）、経常利益362,995千円（前年同四半期比64.3%増）、四半期純利益239,458千円（前年同四半期比59.5%増）となりました。

受注状況につきましては、受注高2,061,148千円（前年同四半期比20.9%減）、受注残高1,637,610千円（前年同四半期比22.4%減）となりました。

（※1）プライベートクラウドとは、医療機関内に構築したクラウド環境で、同一医療法人内の複数施設から専用回線を通じてサーバーにアクセスし、アプリケーションを使用すること

（※2）パブリッククラウドとは、データセンターを利用したクラウドで、医療機関内にサーバーを設置せずにアプリケーションを使用すること

なお、セグメント別の業績につきましては、システム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しておりますが、受注実績及び販売実績を種類別に示すと、次のとおりであります。

①受注実績

種類別	当第3四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)			
	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
システムソフトウェア	1,428,168	82.1	1,278,053	83.3
ハードウェア	632,979	73.1	359,557	62.4
合計	2,061,148	79.1	1,637,610	77.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②販売実績

種類別	当第3四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	前年同四半期比 (%)
	販売高 (千円)	
システムソフトウェア	1,352,049	111.4
ハードウェア	705,728	113.4
保守サービス等	950,193	106.9
合計	3,007,971	110.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ、流動資産が412,815千円減少、固定資産が36,525千円減少した結果、449,341千円減少し、5,239,921千円となりました。流動資産の減少は、主に受取手形及び売掛金が27,096千円増加した一方で、現金及び預金が444,304千円減少したことなどによるものです。また、固定資産の減少は、主に無形固定資産が6,300千円増加した一方で、投資その他の資産が36,570千円減少したことなどによるものです。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ、流動負債が292,307千円減少、固定負債が335,455千円減少した結果、627,762千円減少し、2,802,102千円となりました。流動負債の減少は、主に1年内返済予定の長期借入金が298,130千円、賞与引当金が61,500千円それぞれ増加した一方で、支払手形及び買掛金が324,386千円、短期借入金が300,000千円それぞれ減少したことなどによるものです。また、固定負債の減少は、主に長期借入金が318,785千円減少したことなどによるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ、178,420千円増加し、2,437,819千円となりました。その主な要因は、譲渡制限付株式報酬としての新株発行により資本金が5,236千円、資本剰余金が5,236千円それぞれ増加したことに加え、四半期純利益の計上239,458千円、配当による利益剰余金の減少71,509千円によるものです。なお、自己資本比率は46.5%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の終息が見通せる時期までは、当面厳しい環境が継続していくものと思われます。とりわけ、医療業界におきましては、地域の医療体制の維持、医療従事者の安全確保が喫緊の課題となっております。また、コロナ禍を契機として、国の主要施策としてオンライン診療をはじめとした医療分野のデジタル化やDXを推進するという方針が打ち出されております。当社は、医療IT企業として、国のデジタル化推進方針に基づく医療政策、また各都道府県の掲げる地域医療構想に対応した医療のICT化への取り組みや医療DXを促進し、更なる医療への貢献を目指してまいります。

このような事業環境の下、当第3四半期累計期間の業績は、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」に記載のとおり、前年同四半期と比較して増収増益となりましたが、2021年12月期通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症がもたらす影響等の不確定な要素があるため、2021年2月8日公表済みの数値を据え置いております。なお、感染症拡大の影響で、顧客である医療機関が当感染症の対策を優先させる方針をとった場合や院内への入館規制等により、当社の業績に影響を与え、業績予想について修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおりますので、実際の業績等は今後の業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,819,660	2,375,356
受取手形及び売掛金	587,823	614,919
商品	277	170
仕掛品	343,176	337,241
貯蔵品	679	717
その他	54,444	64,840
流動資産合計	3,806,061	3,393,245
固定資産		
有形固定資産		
土地	770,309	770,309
その他(純額)	311,162	304,906
有形固定資産合計	1,081,471	1,075,215
無形固定資産		
投資その他の資産	29,403	35,703
投資不動産(純額)	623,581	579,468
その他	148,745	156,288
投資その他の資産合計	772,326	735,756
固定資産合計	1,883,201	1,846,676
資産合計	5,689,263	5,239,921
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	901,283	576,896
短期借入金	1,150,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	27,540	325,670
未払法人税等	97,614	51,578
賞与引当金	-	61,500
その他	264,961	283,446
流動負債合計	2,441,399	2,149,091
固定負債		
長期借入金	520,265	201,480
退職給付引当金	293,290	282,002
役員退職慰労引当金	137,767	139,431
その他	37,142	30,096
固定負債合計	988,465	653,010
負債合計	3,429,865	2,802,102
純資産の部		
株主資本		
資本金	424,250	429,486
資本剰余金	285,400	290,636
利益剰余金	1,550,041	1,717,990
自己株式	△293	△293
株主資本合計	2,259,398	2,437,819
純資産合計	2,259,398	2,437,819
負債純資産合計	5,689,263	5,239,921

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)
売上高	2,725,603	3,007,971
売上原価	1,937,259	2,027,233
売上総利益	788,343	980,738
販売費及び一般管理費	599,165	645,217
営業利益	189,177	335,520
営業外収益		
受取利息	99	101
受取配当金	41	41
受取賃貸料	61,481	54,570
その他	687	1,370
営業外収益合計	62,308	56,084
営業外費用		
支払利息	6,230	4,991
賃貸費用	24,198	23,616
その他	131	0
営業外費用合計	30,560	28,608
経常利益	220,925	362,995
特別損失		
固定資産売却損	-	8,674
特別損失合計	-	8,674
税引前四半期純利益	220,925	354,321
法人税、住民税及び事業税	80,146	123,100
法人税等調整額	△9,347	△8,238
法人税等合計	70,798	114,862
四半期純利益	150,127	239,458

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)及び当第3四半期累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

当社の事業は、システム事業の単一セグメントですので、記載は省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。